

## 長崎市提案型協働事業 令和4年度実施事業

### 評価結果及び審査会コメント

#### ◆評価項目及び評価結果

団体名	福田小学校区コミュニティ連絡協議会	担当課名	廃棄物対策課
事業名	高齢者等のごみ出し支援事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	A
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	B
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	B
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	A
総括		B	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている      B…優れている      C…どちらともいえない  
D…どちらかといえば不十分である      E…不十分である

#### ◆審査会コメント

本事業は、既に本市で実施されている「ふれあい訪問収集事業」の支援の対象にならない住民のごみ出し支援に地域の関係団体が連携して取り組むものであり、困難な状況にある方々を取り残さない社会を実現するうえで有効な取り組みである。

また、事業の過程で課題を検討し、制度の見直しを行ったことや、アンケートをとって成果を可視化したこと、若い世代(中学生)を巻き込んだ仕組みを構築したことについても評価できる。

今後は、アンケート結果を活用し、関係者が各々の役割を果たしながら地域内外における連携の輪を広げていただきたい。特に、地域と連携して支援対象者数・支援員数の把握や検証に努めるとともに、支援員の増加につながるように40代、50代の地域住民へ事業を浸透させるとともに、他の地域でも実践できるように、本事業のプロセスの広報や共有にも取り組んでいただきたい。

## 長崎市提案型協働事業 令和4年度実施事業

### 評価結果及び審査会コメント

#### ◆評価項目及び評価結果

団体名	NPO 法人長崎ドローン情報センター	担当課名	農林振興課
事業名	ドローンを活用した鳥獣害対策事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	<b>B</b>
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	<b>B</b>
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	<b>C</b>
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	<b>B</b>
総括		<b>B</b>	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている      B…優れている      C…どちらともいえない  
D…どちらかといえば不十分である      E…不十分である

#### ◆審査会コメント

有害鳥獣問題は、本市でも農作物被害や市民の安全安心な生活に影響を与える大きな問題となっている。この問題に対して、実施主体である長崎ドローン情報センターと農林振興課に加え、猟友会等の関係者が協力する体制を構築し、複数回にわたりドローンを用いた新しい調査を試行できたことは評価できる。

しかし、調査の成果が、有害鳥獣の種別の特定、一時的な鳥類の追払いや有害鳥獣の動体把握などにとどまっていることから、効率的な捕獲につなげるための調査結果の分析等が不足している。

今後は、より多くの市民を巻き込むことによる認知度の向上に加え、長崎県ドローン連絡協議会の加盟団体や情報系の企業と協働して新しい技術の開発等を進めるなど、効果的な事業の展開について検討していただきたい。

## 長崎市提案型協働事業 令和4年度実施事業

### 評価結果及び審査会コメント

#### ◆評価項目及び評価結果

団体名	東町侍石自治会	担当課名	東総合事務所 地域福祉課
事業名	矢上普賢岳魅力向上事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	A
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	A
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	A
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	A
総括		A	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている      B…優れている      C…どちらともいえない  
D…どちらかといえば不十分である      E…不十分である

#### ◆審査会コメント

地域の魅力向上をテーマにする本事業は、まちづくり・地域づくりを念頭においた事業である。

今回制作した紙芝居やマップ、スタンプラリーなどの各コンテンツを地域で活用していくことは、東長崎地区の賑いや文化の伝承に資することから、事業の有用性を確認できる。

また、事業の実施にあたっては、団体の強み、担当課の強みを活かし、多くの地域団体を巻き込み、ネットワークが広がったことや、他のコミュニティや地域全般でも協働の成功事例となる事業となったことについても評価できる。

さらに、広報については、メディア等を活用し行われていたが、山頂からの景色や、普賢山に「賢い」という漢字が含まれていることから、受験生のパワースポットとして SNS 等で発信することで、新たな登山者の増加につながると感じられた。

今後は、当該地区に存在する企業をはじめ様々な団体と新たな協働の方向性を見出し、次の事業展開に向かって、引き続き地域一丸となって邁進していただきたい。